

～2022年度保育スタッフ研修会～ 安全な保育のために

2022年7月4日～15日、オンライン参加2回、会場参加2会場で開催した「2022年度保育スタッフ研修会」には、あわせて71名の参加がありました。徐々にではありますが企画の開催も増えてきている中、保育の現場を担当するにあたり、感染症対策を含め保育の基本と手順をあらためて確認する研修になりました。



■研修会の内容は

「パルシステム東京の保育制度」は組合員同士のたすけあいが基本の仕組みです。今回の研修では、コロナ禍での保育現場の減少に伴い、活動も十分ではなく、消毒作業などに不安を感じているスタッフが多いため、安全な保育の基本と、保育手順の確認から始めました。

①『保育スタッフ手帳』の変更点について

伝わりにくい部分や重複している箇所、誤解が生じる可能性がある表現を修正。ケガ・事故があった時の報告・連絡の優先順位をわかりやすく明記。

②保育当日までの準備について

「決定書」を受け取った時の確認、「決定書」に記載されている＜保育スタッフへの連絡事項＞もよく読むこと、「保育スタッフが当日持参するもの」を参照し、持ち物の確認も。

③保育当日の手順と実務

コロナ禍で特に注意することとして、保育担当者との打ち合わせでは保育備品の中でも「消毒薬・ペーパー」がきちんとセットされているか、ドアノブなど子どもが触りそうな箇所の消毒など会場内の消毒・準備。「保育個人票」を使って保護者にお子さんの状況をしっかり確認・聞き取りしながら受付することが大事。

④保育終了後

会場の片づけ、おもちゃの消毒、保育受付表・報告書を記入し保育担当者に渡す、保育個人票を保護者に返す、謝礼用紙に記入し保育担当者に確認印をもらう。

⑤グループごとに意見交換

研修後半は、グループに分かれて、「お子さんのケガ



「久しぶりー！」一緒に保育を担当していた仲間との再会に喜び、最近の保育事情など、情報交換をしていました（2022年7月15日新宿本部会場にて）

対策、保育時に注意すべきことって？」を話し合いました。保育会場づくりと安全チェック、「子どもの目線」が大事なことを共有し、グループごとに話し合われた内容が発表されました。

■保育活動への不安の声には

参加した保育スタッフからは、「しばらく保育現場から離れていたもので、今日の話やスタッフ手帳を見直して、備えたいと思います」「会場とお子さんの事前情報をしっかり得ておくことが大事なことがよく分かりました」。また、「しばらく保育活動をしていないので復帰が不安」という声には、「ベテランの保育スタッフさんと一緒に保育ができてよかったですよ」との声も出ていました。blankがあって不安を感じる場合は担当コーディネーターに相談するなどのフォローも聞けました。

コロナ禍では、部屋の収容人数の制限など会場ごとのルールがあります。また、お子さんのおむつ替えや消毒薬の準備など従来とは違った運用もあります。感染防止対策はまだまだ必要ですが、今後、保育活動の場が増えていくことが予想されます。保育担当者や保育スタッフ、保育コーディネーターが協力して、安全な保育を行っていきましょう。

Zoom 利用初期講座を開催

「Zoomを利用してみたいけれど使い方がわからない」「安全性は大丈夫？」という声に
応えて、Zoomを使用するための講座を開催しました。パソコン・タブレット・スマートフォ
ンを実際に使用して「安全な設定」「機器のセッティング」「基本の使い方」を学びました。



オンライン会議への第一歩に

コロナ禍における新しい生活様式の導入により、一
変してきた会議運営や事務手続きの効率化などを検証
するため、2021年度「組合員活動における電子化検証
モニター会議」を行いました。今回は、その中から、オ
ンラインミーティングの検証報告を受け、改めて委員
会活動でも時間の確保や感染症対策としてもオンライ
ン会議が有効であることを確認し、オンライン会議を
行うための委員会向け学習会の一環として開催しました。

企画や会議への参加には

講座の前半は、Zoomの企画や会議に参加する方
法からはじまりました。

①Zoomに必要な準備

パソコン、スマートフォン、タブレットの機器の
ほか、「LAN回線」「WiFi回線」などの通信にかかわ
るシステムやマイク付きイヤホンなど、必要な備品
を説明しました。

②Zoomをはじめる前に

アプリのダウンロードや設定の基本を、それぞ
れの機器の違いに合わせて解説。実際に会議に参加
してみると、「声が聞こえない」「画面が見えない」な
どの問題が出ることもあり、参加してから慌てない
ように、事前にマイク・カメラの許可などの設定を
しておくことを確認しました。

③Zoomへの入室方法

いよいよ会議への入室です。入室方法や基本操作



持参した自分のタブレットを使いな
がら、使い方を説明していくことも



「Zoomのアプリをダウンロードするには」など、
さまざまな疑問にも答えながら、実際に画面を操作
しながらの講座でした（9月27日新宿本部にて）

を順に学んでいきました。企画や会議に参加する場合、
IDやパスコードの入力、会議に参加する名前の入力・
変更方法などを確認していきました。

「Zoom」をダウンロードする時

講座の後半では、「Zoomで検索するとさまざまなサ
イトが出てきます。どこを選ぶといいのか迷います」
など、実際に始めてみようとした時に会う、さまざ
まな疑問に答えていきました。実際に「Zoom」と検索
し、どれを選択すればいいか、画面を見ながら作業を
進めました。「いつも使っているタブレットです。設定
方法がわからないのですが…」の声には、持参のタブ
レットを使って試してみました。

「定例会にどうしても参加できない委員のために、今
までも定例会の現場と委員さんをZoomでつないでい
ます。今度委員長になり、自分で会議の設定が出来る
ようになりたいと思い参加しました」という参加者や、
「Zoomの利用になれてくると、離れて暮らす家族との
連絡や、緊急時の情報収集などにも便利ですね」など、
オンラインでつながることが、コロナ禍の現状だけで
はなく、さまざまな場面でも活用できる可能性を実感
した講座になりました。

■紙面の都合で、今回は詳細を紹介できませんが、委
員会向けに「Zoom講習会」を開催することができま
すので、活動長に相談してみてください。